

(参考)

## 平成21年3月期 第3四半期決算概要

平成21年1月30日  
三井化学株式会社

## 1. 連結の範囲

(単位:社)

	平成20年 3月末	平成20年 12月末	増 減	平成20年 3月末	平成21年 3月末予想	増 減
連結子会社数	63	65	2	63	64	1
持分法適用会社数	38	33	△ 5	38	32	△ 6
合計	101	98	△ 3	101	96	△ 5

## 2. 損益状況

(単位:億円)

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期	増 減 (下段:増減率)	平成20年 3月期実績	平成21年 3月期予想	増 減 (下段:増減率)
売上高	13,378	12,521	△ 857 (△ 6.4%)	17,867	14,500	△ 3,367 (△ 18.8%)
営業利益	703	120	△ 583 (△ 82.9%)	772	△ 250	△ 1,022 -
経常利益	678	90	△ 588 (△ 86.7%)	661	△ 300	△ 961 -
四半期(当期)純利益	360	36	△ 324 (△ 90.1%)	248	△ 130	△ 378 -

## ・主要指標

為替レート	円/US\$	117	103	△ 14	114	100	△ 14
国産ナフサ価格	円/KL	59,700	69,730	10,030	61,450	58,800	△ 2,650
	4-9月	58,750	78,350		1-3月	66,700	26,000
	10-12月	61,600	52,500				

## ・特別損益主要内訳

(単位:億円)

資産売却益等	23	22	△ 1	29	30	1
固定資産処分売却損	△ 26	△ 25	1	△ 54	△ 80	△ 26
減損損失	-	△ 6	△ 6	△ 7	△ 10	△ 3
関連事業損失等	△ 31	△ 8	23	△ 32	△ 10	22
事業撤退損失	-	-	-	△ 26	-	26
環境対策費	△ 48	△ 14	34	△ 117	△ 15	102
その他	-	△ 12	△ 12	△ 8	△ 15	△ 7
合計	△ 82	△ 43	39	△ 215	△ 100	115

## 3. セグメント別 売上高・営業利益(増減内訳は別紙参照)

(単位:億円)

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期	増 減	平成20年 3月期実績	平成21年 3月期予想	増 減	
機能材料	売上高	3,800	3,601	△ 199	5,041	4,100	△ 941
	営業利益	316	98	△ 218	359	△ 60	△ 419
先端化学品	売上高	890	889	△ 1	1,221	1,200	△ 21
	営業利益	77	51	△ 26	108	80	△ 28
基礎化学品	売上高	8,308	7,832	△ 476	11,112	8,900	△ 2,212
	営業利益	324	7	△ 317	334	△ 210	△ 544
その他	売上高	380	199	△ 181	493	300	△ 193
	営業利益	27	1	△ 26	34	-	△ 34
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△ 41	△ 37	4	△ 63	△ 60	3
合計	売上高	13,378	12,521	△ 857	17,867	14,500	△ 3,367
	営業利益	703	120	△ 583	772	△ 250	△ 1,022

(参考)

## 4. 貸借対照表

(単位: 億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H20/3末	H20/12末	増減		H20/3末	H20/12末	増減
流動資産	7,263	7,262	△ 1	有利子負債	4,860	5,509	649
有形固定資産	5,648	5,378	△ 270	その他負債	4,190	3,640	△ 550
無形固定資産	223	270	47	自己資本	5,000	4,597	△ 403
投資等	1,558	1,415	△ 143	少数株主持分	642	579	△ 63
資産計	14,692	14,325	△ 367	負債純資産計	14,692	14,325	△ 367

(D/Eレシオ) (0.97) (1.20) (0.23)

## 5. キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	増減	平成20年	平成21年	増減
	第3四半期	第3四半期		3月期実績	3月期予想	
営業キャッシュ・フロー	763	128	△ 635	924	400	△ 524
投資キャッシュ・フロー	△ 576	△ 610	△ 34	△ 782	△ 750	32
(フリーキャッシュ・フロー)	(187)	(△ 482)	(△ 669)	(142)	(△ 350)	(△ 492)
財務キャッシュ・フロー	△ 89	548	637	△ 287	350	637
その他	△ 5	△ 22	△ 17	△ 4	-	4
現預金等増減	93	44	△ 49	△ 149	-	149

## 6. トピックス

## ①プラント新增設

市原工場 EPT (エチレン・プロピレン・ターポリマー) 増強設備 営業運転開始 (08年4月)  
 大阪工場 アペル (環状オレフィンコポリマー) 新設プラント 営業運転開始 (08年5月)

## ②その他

アメリカ SDC Technologies 社 (メガネレンズ用コーティング材料等の製造・販売会社) 買収 (08年6月)

(別紙)

## セグメント別増減内訳

## 1. 対前年同四半期(9ヵ月累計)

## ・売上高

(単位: 億円)

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期	計	増減	
				数量差	価格差
機能材料	3,800	3,601	△ 199	△ 339	140
先端化学品	890	889	△ 1	△ 2	1
基礎化学品	8,308	7,832	△ 476	△ 1,094	618
その他	380	199	△ 181	△ 185	4
合計	13,378	12,521	△ 857	△ 1,620	763

## ・営業利益

(単位: 億円)

	平成20年3月期 第3四半期	平成21年3月期 第3四半期 (*)	計	増減			(*)うち 棚卸資産 低価法の影響
				数量差	交易条件(*)	固定費他	
機能材料	316	98	△ 218	△ 182	△ 6	△ 30	△ 6
先端化学品	77	51	△ 26	△ 2	△ 4	△ 20	2
基礎化学品	324	7	△ 317	△ 99	△ 187	△ 31	△ 23
その他	27	1	△ 26	△ 13	△ 13	-	-
消去・全社	△ 41	△ 37	4	-	-	4	-
合計	703	120	△ 583	△ 296	△ 210	△ 77	△ 27

## 2. 前年度実績対今回予想(年間)

## ・売上高

(単位: 億円)

	平成20年 3月期実績	平成21年 3月期予想	計	増減	
				数量差	価格差
機能材料	5,041	4,100	△ 941	△ 1,061	120
先端化学品	1,221	1,200	△ 21	△ 20	△ 1
基礎化学品	11,112	8,900	△ 2,212	△ 2,499	287
その他	493	300	△ 193	△ 197	4
合計	17,867	14,500	△ 3,367	△ 3,777	410

## ・営業利益

(単位: 億円)

	平成20年 3月期実績	平成21年 3月期予想 (*)	計	増減			(*)うち 棚卸資産 低価法の影響
				数量差	交易条件(*)	固定費他	
機能材料	359	△ 60	△ 419	△ 240	△ 75	△ 104	△ 35
先端化学品	108	80	△ 28	2	△ 6	△ 24	-
基礎化学品	334	△ 210	△ 544	△ 408	△ 97	△ 39	△ 135
その他	34	-	△ 34	△ 20	△ 14	-	-
消去・全社	△ 63	△ 60	3	-	△ 1	4	-
合計	772	△ 250	△ 1,022	△ 666	△ 193	△ 163	△ 170

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社  
 コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuiichem.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤吉 建二  
 問合せ先責任者 (役職名) CSR・広報部長 (氏名) 山崎 真  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-6253-2100

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,252,059	—	11,997	—	9,035	—	3,550	—
20年3月期第3四半期	1,337,771	6.6	70,256	3.9	67,801	△7.4	36,016	△21.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	4.66	—
20年3月期第3四半期	46.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,432,473	517,549	32.1	611.54		
20年3月期	1,469,248	564,227	34.0	649.63		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 459,636百万円 20年3月期 500,044百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	9.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450,000	△18.8	△25,000	—	△30,000	—	△13,000	—	△17.13

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、5～6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有  
 (注) 詳細は、5～6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 792,020,076株 20年3月期 792,020,076株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 40,416,366株 20年3月期 22,287,515株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 761,594,056株 20年3月期第3四半期 771,108,590株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)平成20年5月9日に公表いたしました平成21年3月期の1株当たり配当予想につきましては、平成21年1月30日発表の「平成21年3月期 業績(連結・個別)予想及び配当予想の修正並びに緊急対策に関するお知らせ」にて、期末の配当予想を修正しております。
- (2)平成20年10月31日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成21年1月30日発表の「平成21年3月期 業績(連結・個別)予想及び配当予想の修正並びに緊急対策に関するお知らせ」にて、通期の業績予想を修正しております。
- (3)本資料に記載の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- (4)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### (全般的状況)

当第3四半期(平成20年4月1日～平成20年12月31日の9か月間。以下、「当四半期」という。)における事業環境は、7～9月に史上最高値圏にあった原燃料価格が足許で急落したうえ、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な経済危機の影響によって急速に需要が落ち込むなど、過去に例を見ないほどの大きな変化を受け、より一層厳しい状況となりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

なお、前年同四半期の数値及び増減率は参考として記載しております。当期は四半期報告制度の導入初年度であるため、前年同四半期の数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	12,521	120	90	36
前年同四半期	13,378	703	678	360
増減額	△857	△583	△588	△324
増減率	△6.4%	△82.9%	△86.7%	△90.1%

**売上高**は、前年同四半期に比べ857億円減(6.4%減)の1兆2,521億円となりました。これは、年度前半におけるナフサなどの原燃料価格高騰下での製品価格改定及び海外市況の改善などによる価格アップの効果が763億円あったものの、急速な需要の落ち込みなどに伴う売上数量減少の影響が1,620億円あったことによるものです。

**営業利益**は、年度前半における製品価格の改定及び海外市況の改善などがあったものの、販売数量の減少に加え、足許の原燃料価格の急落に伴い一部製品の販売価格が下落したため、前年同四半期に比べ583億円減(82.9%減)の120億円となりました。

**経常利益**は、営業外損益が前年同四半期に比べ5億円減益となった結果、前年同四半期に比べ588億円減(86.7%減)の90億円となりました。これは、不良品処分損の減少があったものの、為替差損の増加などがあったことによるものです。

**特別利益**は、投資有価証券売却益15億円などにより22億円となりました。一方、**特別損失**は、固定資産処分損・売却損25億円、環境対策費14億円などにより65億円となりました。この結果、**特別損益**は、前年同四半期に比べ39億円増益の43億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ549億円減の47億円となりました。

**四半期純利益**は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ324億円減(90.1%減)の36億円となり、1株当たり四半期純利益は4.66円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

#### (機能材料)

**自動車・産業材**は、秋口からの自動車市場の急激な需要減速の影響を受けたものの、アジア市場を中心に新規顧客の開拓が順調に進み、当四半期を通じては、売上高は堅調に推移しました。

**工業材料**は、塗料用原料樹脂において秋口からの急激な需要減速の影響を受け、売上高は前年同四半期並みとなりました。

**衛生材料**は、不織布の需要が東・東南アジア、特にタイ・中国市場で拡大したことにより、売上高は増加しました。

**特殊ポリオレフィン及びエンジニアリングプラスチック**は、電子情報関連用途を中心に需要が減速したことにより、売上高は低調に推移しました。

**半導体材料**は、半導体市場における需要減速と価格低下の影響を受けたため、売上高は厳しい状況となりました。

**エネルギー材料**は、太陽電池封止材市場の需要拡大により、売上高は好調に推移しました。

**ポリウレタン**は、TDI・MDIの急激な需要減速に加え、海外市況の悪化や円高などにより、売上高は厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ199億円減の3,601億円、売上高全体に占める割合は29%となりました。また、営業利益は、コストダウンを進めたものの、需要減速や年度前半における原燃料価格高騰などの影響により、218億円減の98億円となりました。

#### (先端化学品)

**眼鏡レンズ用材料**や医療材料などの**ヘルスケア材料**は、販売が順調であったため、売上高は堅調に推移しました。

重合抑制剤、タイヤ・木材向け接着剤原料などの**化成品**は、年度前半における原燃料価格の高騰を受けて製品価格の改定を行ったものの、景気後退の影響を受けた需要減速により、売上高は厳しい状況となりました。

**農業化学品**は、殺虫剤などの販売が順調であったため、売上高は堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ1億円減の889億円、売上高全体に占める割合は7%となりました。また、営業利益は、殺虫剤などの販売が増加したものの、需要減速や年度前半における原燃料価格高騰などの影響により、26億円減の51億円となりました。

#### (基礎化学品)

**エチレン及びプロピレン**は、誘導品の需要低迷を背景に8月から生産調整を実施したため、前年に市原工場で行ったプラントの定期修理を行わなかったものの、生産量はいずれも前年同四半期を下回りました。

**フェノール**は、秋口からの需要の落ち込みを受けて生産調整を実施したことに加え、原燃料価格の下落に伴う販売価格の下落により、売上高は厳しい状況となりました。

**ビスフェノールA**は、秋口から主要用途であるポリカーボネート樹脂及びエポキシ樹脂の需要の落ち込みを受けて生産調整を実施したことに加え、原燃料価格の下落に伴う販売価格の下落により、フェノール同様、売上高は厳しい状況となりました。

**高純度テレフタル酸**は、中国市況の低迷により、売上高は厳しい状況となりました。

**ペット樹脂（ポリエチレンテレフタレート）**は、年度前半における原燃料価格の高騰を受けて製品価格の改定を行ったものの、販売数量の伸び悩みにより、売上高は低調に推移しました。

**エチレングリコール、エチレンオキサイド及びその誘導品**は、需要の低迷により、売上高は厳しい状況となりました。

**ポリエチレン及びポリプロピレン**は、年度前半における原燃料価格の高騰を受けて製品価格の改定を行ったものの、景気後退の影響を受けた需要減速により、売上高は前年同四半期並みとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ476億円減の7,832億円、売上高全体に占める割合は62%となりました。また、営業利益は、年度前半における原燃料価格高騰や需要減速などの影響により、317億円減の7億円となりました。

#### (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ181億円減の199億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業利益は26億円減の1億円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ367億円減の1兆4,325億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ99億円増の9,149億円となり、そのうち、**有利子負債**は649億円増の5,509億円となりました。この結果、有利子負債比率は前期末に比べ5.4ポイント増の38.5%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ466億円減の5,176億円となり、**自己資本比率**は前期末

に比べ 1.9 ポイント減の 32.1%となりました。なお、平成 20 年 9 月に、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行を可能とすることを目的として自己株式を取得しており、取得価額の総額は 100 億円であります。

以上により、当四半期末の**有利子負債／自己資本比率（D／E レシオ）**は、前期末に比べ 0.23 ポイント増の 1.20 となりました。

## （2）キャッシュ・フローの状況

当四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、44 億円増加し、当四半期末には 299 億円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ 635 億円減の 128 億円となりました。前年同四半期と比べて減少したのは、法人税等の支払額が減少したものの、税金等調整前四半期純利益が減少したこと及びたな卸資産の増加による運転資金の大きな増加があったことなどによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ 34 億円増の 610 億円となりました。前年同四半期と比べて増加したのは、固定資産の取得による支出は減少したものの、平成 20 年 6 月に米国 SDC Technologies 社（メガネレンズ用コーティング材料等の製造・販売会社）の買収を行ったこと及び投資有価証券や固定資産の売却による収入が減少したことなどによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって調達された資金は、548 億円となりました。これは、有利子負債の調達を行ったことなどによるものです。なお、前年同四半期において財務活動により使用された資金は 89 億円であり、これは、有利子負債による資金調達を行ったものの、配当金の支払があったことなどによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

### （1）業績の見通し

平成 20 年 10 月 31 日に公表いたしました連結業績予想につきましては、平成 21 年 1 月 30 日発表の「平成 21 年 3 月期 業績（連結・個別）予想及び配当予想の修正並びに緊急対策に関するお知らせ」にて、以下のとおり通期の業績予想の修正を行っております。

業績予想値の修正にあたっては、為替レートについては 1～3 月 90 円／\$（通期 100 円／\$）、国産ナフサ価格については 1～3 月 26,000 円／k1（通期 58,800 円／k1）を前提としております。

この結果、売上高は、自動車、エレクトロニクス分野等の急速な需要の落ち込みを受けた機能材料部門及び基礎化学品部門における減販により、前回発表予想数値から減少する見込みです。

また、営業利益、経常利益及び当期純利益は、先端化学品部門において健闘しているものの、機能材料部門及び基礎化学品部門の減販の影響に加えて、低価法による棚卸資産評価損等を含む交易条件の悪化により、前回発表予想数値から減少する見込みです。

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	18,800	450	480	220
今回修正予想	14,500	△250	△300	△130
増減額	△4,300	△700	△780	△350

なお、当期末の配当につきましては、上記のとおり業績を下方修正したこと等を総合的に勘案し、従来予想に比べ 4 円減の 1 株当たり 3 円の配当を実施する予定であります。すでに、平成 20 年 12 月 2 日に 1 株当たり 6 円の間配当を実施しておりますので、当期の配当金は、1 株当たり 9 円を予定しております。

(2) セグメント別の見通し

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高					
	機能材料	先端化学品	基礎化学品	その他	消去・全社	合 計
前回発表予想	5,200	1,200	12,100	300	—	18,800
今回修正予想	4,100	1,200	8,900	300	—	14,500
増減額	△1,100	—	△3,200	—	—	△4,300

(単位：億円)

	営 業 利 益					
	機能材料	先端化学品	基礎化学品	その他	消去・全社	合 計
前回発表予想	190	90	220	—	△50	450
今回修正予想	△60	80	△210	—	△60	△250
増減額	△250	△10	△430	—	△10	△700

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として後入先出法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として後入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

③ 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。



④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第 13 号 平成 19 年 3 月 30 日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 16 号 平成 19 年 3 月 30 日改正）が平成 20 年 4 月 1 日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第 1 四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,583	22,182
受取手形及び売掛金	271,750	332,953
たな卸資産	328,722	269,229
繰延税金資産	26,215	18,268
その他	73,393	84,187
貸倒引当金	△494	△458
流動資産合計	726,169	726,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	309,691	303,888
減価償却累計額	△187,668	△182,044
建物及び構築物 (純額)	122,023	121,844
機械装置及び運搬具	1,048,965	1,027,975
減価償却累計額	△840,587	△818,702
機械装置及び運搬具 (純額)	208,378	209,273
土地	171,043	172,140
建設仮勘定	25,970	50,448
その他	60,504	60,021
減価償却累計額	△50,066	△48,921
その他 (純額)	10,438	11,100
有形固定資産合計	537,852	564,805
無形固定資産		
のれん	12,185	10,154
その他	14,798	12,173
無形固定資産合計	26,983	22,327
投資その他の資産		
投資有価証券	98,901	118,745
長期貸付金	1,687	1,584
繰延税金資産	23,581	18,299
その他	17,379	19,161
貸倒引当金	△79	△2,034
投資その他の資産合計	141,469	155,755
固定資産合計	706,304	742,887
資産合計	1,432,473	1,469,248

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	206,417	239,542
短期借入金	124,666	96,329
1年内返済予定の長期借入金	12,007	16,838
コマーシャル・ペーパー	88,000	80,000
1年内償還予定の社債	12,011	20,022
未払法人税等	4,071	15,513
役員賞与引当金	102	122
修繕引当金	10,656	8,703
その他	79,551	92,491
流動負債合計	537,481	569,560
固定負債		
社債	141,033	153,033
長期借入金	172,831	119,750
繰延税金負債	6,104	4,396
退職給付引当金	33,988	33,564
役員退職慰労引当金	420	369
修繕引当金	1,573	4,874
環境対策引当金	12,085	11,106
その他	9,409	8,369
固定負債合計	377,443	335,461
負債合計	914,924	905,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,226	103,226
資本剰余金	69,238	69,238
利益剰余金	320,468	326,932
自己株式	△29,859	△19,826
株主資本合計	463,073	479,570
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,051	19,125
繰延ヘッジ損益	△11	39
為替換算調整勘定	△11,477	1,310
評価・換算差額等合計	△3,437	20,474
少数株主持分	57,913	64,183
純資産合計	517,549	564,227
負債純資産合計	1,432,473	1,469,248

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

売上高	1,252,059
売上原価	1,093,369
売上総利益	158,690
販売費及び一般管理費	146,693
営業利益	11,997
営業外収益	
受取利息	393
受取配当金	2,437
受取賃貸料	564
持分法による投資利益	3,928
その他	3,982
営業外収益合計	11,304
営業外費用	
支払利息	6,426
コマーシャル・ペーパー利息	526
為替差損	3,699
その他	3,615
営業外費用合計	14,266
経常利益	9,035
特別利益	
固定資産売却益	679
投資有価証券売却益	1,523
特別利益合計	2,202
特別損失	
固定資産処分損	2,089
固定資産売却損	403
減損損失	640
関連事業損失	458
投資有価証券評価損	1,233
環境対策費	1,400
その他	357
特別損失合計	6,580
税金等調整前四半期純利益	4,657
法人税等	2,091
少数株主損失(△)	△984
四半期純利益	3,550

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,657
減価償却費	56,513
のれん償却額	3,364
減損損失	640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,737
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△1,348
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	51
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	979
受取利息及び受取配当金	△2,830
支払利息	6,426
持分法による投資損益 (△は益)	△3,928
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,202
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,233
有形固定資産除却損	1,162
固定資産売却損益 (△は益)	△276
売上債権の増減額 (△は増加)	55,910
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,498
仕入債務の増減額 (△は減少)	△25,525
その他	7,947
小計	34,538
利息及び配当金の受取額	7,072
利息の支払額	△7,107
法人税等の支払額	△21,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△52,942
有形固定資産の売却による収入	1,346
無形固定資産の取得による支出	△1,369
長期前払費用の取得による支出	△1,141
投資有価証券の取得による支出	△4,290
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,914
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,684
その他	2,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,964

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32,805
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	8,000
長期借入れによる収入	66,226
長期借入金の返済による支出	△10,859
社債の償還による支出	△20,011
自己株式の売却による収入	354
自己株式の取得による支出	△10,607
配当金の支払額	△9,128
少数株主への配当金の支払額	△1,213
持分法適用会社からの預り金増減額 (△は減少)	△950
その他	147
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,318
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,298
現金及び現金同等物の期首残高	25,502
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,881

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	機能材料 (百万円)	先端化学品 (百万円)	基礎化学品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	360,079	88,868	783,236	19,876	1,252,059	—	1,252,059
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,793	2,461	120,825	61,438	200,517	(200,517)	—
計	375,872	91,329	904,061	81,314	1,452,576	(200,517)	1,252,059
営業利益	9,793	5,122	703	89	15,707	(3,710)	11,997

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、製品の種類及び製造方法の類似性等を勘案して4つに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主 要 製 品
機能材料	自動車・産業材、包装・機能材、生活・エネルギー材、電子・情報材、ウレタン樹脂原料
先端化学品	精密化学品、農業化学品
基礎化学品	基礎原料(エチレン、プロピレン等)、フェノール、合繊原料・ペット樹脂、工業薬品、ポリエチレン、ポリプロピレン
その他	その他関連事業等

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,014,278	161,828	75,953	1,252,059	—	1,252,059
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,517	58,278	1,154	106,949	(106,949)	—
計	1,061,795	220,106	77,107	1,359,008	(106,949)	1,252,059
営業利益	10,768	271	851	11,890	107	11,997

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール

(2) その他……北米、欧州

**【海外売上高】**

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	331,229	59,868	42,995	10,365	444,457
II. 連結売上高（百万円）					1,252,059
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.5	4.8	3.4	0.8	35.5

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

（1）アジア……………中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール

（2）アメリカ……………米国、メキシコ

（3）ヨーロッパ……………ドイツ、フランス

（4）その他……………オセアニア地域、アフリカ地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期
売 上 高	1,337,771
売 上 原 価	1,117,738
売 上 総 利 益	220,033
販売費及び一般管理費	149,777
営 業 利 益	70,256
営業外収益	14,820
持分法による投資利益	4,822
その他	9,998
営業外費用	17,275
経 常 利 益	67,801
特別利益	2,275
固定資産売却益	2,143
その他	132
特別損失	10,451
固定資産整理損・売却損	2,542
関連事業損失	2,823
投資有価証券売却損	283
環境対策費用	4,790
その他	13
税金等調整前四半期純利益	59,625
法 人 税 等	21,754
少 数 株 主 利 益	1,855
四半期純利益	36,016

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	59,625
減価償却費	50,242
のれん償却額	3,068
売上債権の増減額(増加:△)	△ 9,088
棚卸資産の増減額(増加:△)	533
仕入債務の増減額(減少:△)	9,452
その他の	△ 37,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	76,319
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形無形固定資産の取得による支出	△ 65,773
有形無形固定資産の売却による収入	2,253
投資有価証券の取得による支出	△ 5,312
投資有価証券の売却及び償還による収入	8,927
少数株主持分の取得による支出	△ 136
その他の	2,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 57,591
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,866
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 259
V. 現金及び現金同等物の増減額	9,603
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	40,443
VII. 連結範囲の変更等に伴う現金及び現金同等物の調整額	△ 285
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	49,761

(3) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

外部顧客に対する売上高

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期
機 能 材 料	379,963
先 端 化 学 品	88,986
基 礎 化 学 品	830,785
そ の 他	38,037
計	1,337,771

営業利益

(単位:百万円)

	前年同四半期 平成20年3月期 第3四半期
機 能 材 料	31,624
先 端 化 学 品	7,651
基 礎 化 学 品	32,404
そ の 他	2,642
計	74,321
消 去 又 は 全 社	△ 4,065
連 結	70,256